

# 資料コーナー

## 中国の政治・経済とエネルギー・電力需給の現状

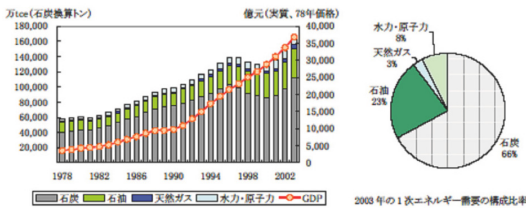
財団法人日本エネルギー経済研究所 技術レポート (http://eneken.ieej.or.jp/data/pdf/925.pdf) より抜粋

### 1. 政治・経済・社会の現状と直面する問題

中国では急速な経済成長の下で、国内では地域間・産業間格差の拡大、国有企業改革の難航と高い失業率、財政赤字の拡大や企業の不良債権膨張などの問題が表面化し、国際的には中国製品の世界的な氾濫、一次産品の供給確保への中国の動きが注目されている。対外的な中国の動きでは、ASEAN 向けの貿易自由化と「平和的台頭」の主張との2つが注目に値する。

### 2. エネルギー事情

中国では、過去 20 年間に実質 GDP が 6 倍となったのに比して、エネルギー消費は 2 倍に増大した (図 1) に過ぎないが、多くのエネルギー問題に直面している。石炭では、公害問題と輸出量削減による国際的な石炭価格の大幅上昇、石油では、急速な消費拡大と国内生産停滞の結果の原油輸入と製品輸入の増加、天然ガスではパイプライン建設や輸入による供給拡大の困難などである。こうした問題に対し、中国政府は長期的なエネルギー戦略策定に着手している。



出所：中国統計年鑑出版社「中国統計年鑑」(各年版)および「中国統計摘要 2004」より作成

図 1 中国の GDP 及びエネルギー需要の推移と 1 次エネルギー需要構成

### 3. 電力事情

中国の電力需要は過去 25 年間に年平均 8.3%という大きな伸びを記録した (図 2)。

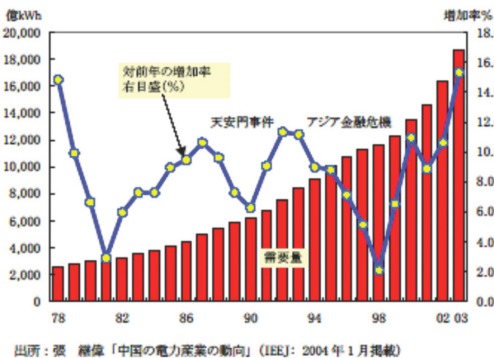
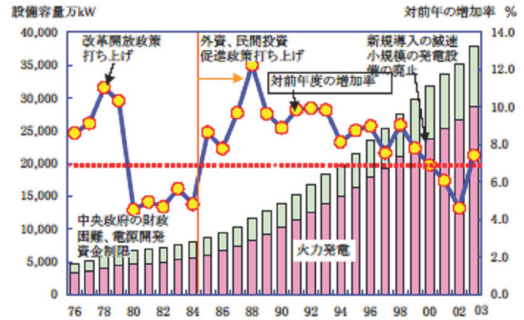


図 2 中国における電力需要の推移

一方発電能力は、政策的に拡大が抑えられた結果、発電能力の伸びが需要の伸びをかなり下回るに至った (図 3)。2004 年は乗り越えたが、電力需給の見通しは明るくはない。

電源別発電設備容量の見通しは表 1 のように、石炭火力が今後も大きな役割を担い、水力は現在の割合を維持、原



出所：張 繼偉「深刻！中国の電力需給」(IEEJ：2004年2月掲載)

図 3 中国における発電能力の推移

子は石油・ガスと肩を並べる見込みである。中国における表 1 中国の電源別発電設備容量の見通し

	2000	2005	2010	2020
石炭火力	23,224	30,330	40,200	59,500
石油・ガス火力	530	1,000	2,000	5,000
水力	7,935	10,500	15,000	23,500
原子力	210	870	2,000	5,000
新エネルギー	33	300	800	2,000
計	31,932	43,000	60,000	95,000
最新修正後の計		48,000	65,000	95,100

出所：中国計量出版社「中国能源発展報告 2003」および State Power Information Network

る発送電設備の開発計画は「西電東送」「南中北の 3 電力系統」「全国連系」という言葉で表現できる (図 4)。3 大電力系統は、内部における連系を完了させるとともに、2010 年までに相互に連結される見込みである。



出所：中国計量出版社「中国能源発展報告 2003」

図 4 中国の広域電力系統の計画

また、中国政府は電力体制改革を進めている。発電所と電力網の分離、新しい電気価格体系の整備、排出物の環境への影響の金額換算などにより、独占を打破し、競争を導入し、効率を高め、コストを下げようとするものである。

田井 裕通 ((株) 東芝)  
(平成 16 年 11 月 30 日受付)